

令和4年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	121 数
一般病院	592 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	41 数
合計	848 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	2,768 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	261 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	362 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	53635年 (平均) 20.2 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	149 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	45 数
常勤	1,549 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	54 数
非常勤	1,219 数	6 : それ以外	347 数
		合計	1,218 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	1389 数
		いいえ	247 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	4,857 数	常勤	4,072 数
② 経験年数		非常勤	785 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	89678.5 (平均) 18.5 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					合計件数	組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適				
婦人科	2,709,123	109,232	19,389	40,678	2,878,422	112,964	306,584	
呼吸器	694,297	28,457	62,048	48,266	833,068	113,306	174,872	
消化器	82,633	30,951	28,468	8,728	150,780	53,236		
泌尿器	1,836,961	145,179	43,282	2,895	2,028,317	95,359		
乳腺	74,669	18,118	19,755	21,943	134,485	27,294		
甲状腺	91,415	19,217	12,384	19,318	142,334	13,496		
体腔液	242,402	19,167	45,248	1,430	308,247	90,122		
リンパ節	27,700	7,379	25,229	5,308	65,616	27,701		
口腔	20,326	5,175	1,748	346	27,595	4,826		
その他	82,359	17,250	12,225	4,944	116,778	180,259		
小計	5,861,885	400,125	269,776	153,856	6,685,642	718,563	481,456	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
14,765	10,832,984	272,788	43,784	173,370	88,095	14,695	7,624	5,593	552	1,636	11,441,121	2,979,638

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					合計件数	組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適				
婦人科	3,195	129	23	48	3,394	133	362	
呼吸器	819	34	73	57	982	134	206	
消化器	97	36	34	10	178	63		
泌尿器	2,166	171	51	3	2,392	112		
乳腺	88	21	23	26	159	32		
甲状腺	108	23	15	23	168	16		
体腔液	286	23	53	2	363	106		
リンパ節	33	9	30	6	77	33		
口腔	24	6	2	0	33	6		
その他	97	20	14	6	138	213		
小計	6,913	472	318	181	7,884	847	568	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
17	12,775	323	52	205	104	17	9	7	1	2	13,556	3530

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	4,021 数
技師参加者	11,877 数
合計	15,898 数

V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)

医師	3,598 数
技師	10,099 数
参加者	13,697 数

VI 精度管理参加記録

プログラム	1,887 数
成績(平均)	94.6 %

令和4年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	121 数
一般病院	592 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	41 数
合計	848 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	664 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	14 数
② 経年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	48 数
経年数合計/細胞診専門医数 (平均)	9580年 (平均) 14.6 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	9 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	5 数
常勤	559 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	6 数
非常勤	105 数	6 : それ以外	23 数
		合計	105 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	261 数
		いいえ	29 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	828 数	常勤	787 数
② 経年数		非常勤	41 数
経年数合計/細胞診検査士数(平均)	12449年 (平均) 15 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					合計件数	組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適				
婦人科	162,761	15,366	5,035	5,024	188,186	29,064	9,564	
呼吸器	52,442	6,937	15,819	4,756	79,954	30,323	4,935	
消化器	23,829	9,778	8,301	3,305	45,213	17,890		
泌尿器	166,718	22,506	7,709	374	197,307	23,152		
乳腺	4,462	1,545	2,576	1,950	10,533	5,049		
甲状腺	16,392	4,475	3,140	4,747	28,754	4,010		
体腔液	66,969	5,140	11,287	326	83,722	28,794		
リンパ節	8,046	2,322	7,482	1,893	19,743	8,747		
口腔	6,061	1,807	624	137	8,629	2,195		
その他	26,429	6,946	4,015	1,815	39,205	8,143		
小計	534,109	76,822	65,988	24,327	701,246	157,367	14,499	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
1340	348015	16521	5703	12816	12507	2834	2010	1626	195	534	404,101	30,581

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					合計件数	組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適				
婦人科	1,345	127	42	42	1,555	240	11	
呼吸器	433	57	131	39	661	251	6	
消化器	197	81	69	27	374	148		
泌尿器	1,378	186	64	3	1,631	191		
乳腺	37	13	21	16	87	42		
甲状腺	135	37	26	39	238	33		
体腔液	553	42	93	3	692	238		
リンパ節	66	19	62	16	163	72		
口腔	50	15	5	1	71	18		
その他	218	57	33	15	324	67		
小計	4,414	635	545	201	5,795	1,301	17	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
11	2,876	137	47	106	103	23	17	13	2	4	3,340	36

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	1,159 数
技師参加者	2,372 数
合計	3,531 数

V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)

医師	1,039 数
技師	2,060 数
参加者	3,099 数

VI 精度管理参加記録

プログラム	263 数
成績(平均)	95.7 %

令和4年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	121 数
一般病院	592 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	41 数
合計	848 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	1,504 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	85 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	249 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	29876年 (平均) 20.5 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	46 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	34 数
常勤	923 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	26 数
非常勤	581 数	6 : それ以外	141 数
		合計	581 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	752 数
		いいえ	92 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	2,650 数	常勤	2,483 数
② 経験年数		非常勤	167 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	41876.5年 (平均) 15.8 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					合計件数	組織診断対比件数	健診
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数			
婦人科	582,710	32,553	9,864	17,788	642,915	63,794	150,507	
呼吸器	139,588	15,775	42,012	11,759	209,134	79,087	28,633	
消化器	41,077	17,798	18,791	4,852	82,518	33,634		
泌尿器	537,400	63,601	24,802	1,644	627,447	65,000		
乳腺	23,134	6,388	9,286	7,862	46,670	18,191		
甲状腺	48,748	10,619	6,559	10,480	76,406	8,048		
体腔液	141,481	10,555	27,911	872	180,819	58,369		
リンパ節	16,150	4,339	15,447	3,024	38,960	17,906		
口腔	10,148	2,616	1,030	184	13,978	2,451		
その他	38,644	5,376	6,622	2,353	52,995	171,134		
小計	1,579,080	169,620	162,324	60,818	1,971,842	517,614	179,140	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
6,045	1,614,733	59,369	13,461	39,383	30,448	5,167	3,061	2,519	165	848	1,775,199	582,586

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					合計件数	組織診断対比件数	健診
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数			
婦人科	984	55	17	30	1,086	108	254	
呼吸器	236	27	71	20	353	134	48	
消化器	69	30	32	8	139	57		
泌尿器	908	107	42	3	1,060	110		
乳腺	39	11	16	13	79	31		
甲状腺	82	18	11	18	129	14		
体腔液	239	18	47	1	305	99		
リンパ節	27	7	26	5	66	30		
口腔								
その他	65	6	11	4	90	289		
小計	2,667	287	274	103	3,331	874	212	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
10	2,728	100	23	67	51	9	5	4	0	1	2,999	984

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	2,151 数
技師参加者	6,534 数
合計	8,685 数

V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)

医師	1,985 数
技師	5,825 数
参加者	7,810 数

VI 精度管理参加記録

プログラム	1,317 数
成績(平均)	94.4 %

令和4年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	121 数
一般病院	592 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	41 数
合計	848 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	7 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	0 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	4 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	82年 (平均) 11.7 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	0 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	0 数
常勤	3 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	0 数
非常勤	4 数	6 : それ以外	0 数
		合計	4 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	5 数
		いいえ	0 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	10 数	常勤	9 数
② 経験年数		非常勤	1 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	219年 (平均) 21.9 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	861	7	10	5	883	42	4
呼吸器	0	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器	22	1	0	0	23	0	0
乳腺	13	6	2	6	27	16	
甲状腺	4,759	0	998	548	6,305	758	
体腔液	0	0	0	0	0	0	
リンパ節	91	0	135	29	255	109	
口腔	0	0	0	0	0	0	
その他	11	0	3	3	17	3	
小計	5,757	14	1,148	591	7,510	928	4

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
1	5,891	136	11	140	48	11	5	3	0	1	6,247	159

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	287	2	3	2	294	14	1
呼吸器	0	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器	7	0	0	0	8	0	0
乳腺	4	2	1	2	9	5	
甲状腺	1,586	0	333	183	2,102	253	
体腔液	0	0	0	0	0	0	
リンパ節	30	0	45	10	85	0	
口腔	0	0	0	0	0	0	
その他	4	0	1	1	6	1	
小計	1,919	5	383	197	2,503	309	1

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
0	1,964	45	4	47	16	4	2	1	0	0	2,082	53

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	10 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	10 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	5 数
技師参加者	29 数		技師	29 数	成績(平均)	94.4 %	
合計	39 数		参加者	39 数			

令和4年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	121 数
一般病院	592 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	41 数
合計	848 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	433 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	146 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	48 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	10090年 (平均) 23.3 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	71 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	5 数
常勤	50 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	13 数
非常勤	383 数	6 : それ以外	100 数
		合計	383 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	246 数
		いいえ	97 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	1,035 数	常勤	541 数
② 経験年数		非常勤	494 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	26542年 (平均) 25.6 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	1,898,509	60,015	4,210	16,553	1,979,287	19,046	112,939
呼吸器	430,540	5,174	3,760	24,443	463,917	3,764	83,207
消化器	17,408	3,279	1,316	556	22,559	1,710	
泌尿器	1,121,933	58,637	10,632	874	1,192,076	7,194	
乳腺	46,299	9,965	7,540	11,909	75,713	3,867	
甲状腺	20,030	4,024	1,603	3,414	29,071	612	
体腔液	33,168	3,412	5,932	227	42,739	2,942	
リンパ節	3,316	701	2,123	334	6,474	934	
口腔	4,037	737	85	25	4,884	180	
その他	17,053	4,898	1,551	755	24,257	978	
小計	3,592,293	150,842	38,752	59,090	3,840,977	41,227	196,146

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
6,323	7,392,306	183,088	21,433	111,727	40,158	5,744	2263	1260	146	231	7,764,679	1,197,787

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	20,863	660	46	182	21,750	209	1241
呼吸器	4,731	57	41	269	5,098	41	914
消化器	191	36	14	6	248	19	
泌尿器	12,329	644	117	10	13,100	79	
乳腺	509	110	83	131	832	42	
甲状腺	220	44	18	38	319	7	
体腔液	364	37	65	2	470	32	
リンパ節	36	8	23	4	71	10	
口腔	44	8	1	0	54	2	
その他	187	54	17	8	267	11	
小計	39,476	1,658	426	649	42,209	453	2155

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
69	81,234	2,012	236	1,228	441	63	25	14	2	3	85,326	13162

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	501 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	医師	380 数	VI 精度管理参加記録	プログラム	229 数
技師参加者	2,186 数		技師	1,513 数		成績(平均)	95.4 %
合計	2,687 数		参加者	1,893 数			

令和4年度 検診機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	121 数
一般病院	592 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	41 数
合計	848 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	160 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	14 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	8 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	4308年 (平均) 26.9 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	23 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	4 数
常勤	14 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	9 数
非常勤	146 数	6 : それ以外	88 数
		合計	146 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	125 数
		いいえ	29 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	334 数	常勤	252 数
② 経験年数		非常勤	82 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	8552年 (平均) 25.6 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	64,282	1,291	1,291	1,308	68,172	1,018	33,570
呼吸器	71,727	571	457	7,308	80,063	132	58,097
消化器	319	96	60	15	490	2	
泌尿器	10,888	434	139	3	11,464	13	
乳腺	761	214	351	216	1,542	171	
甲状腺	1,486	99	84	129	1,798	68	
体腔液	784	60	118	5	967	17	
リンパ節	97	17	42	28	184	5	
口腔	80	15	9	0	104	0	
その他	222	30	34	18	304	1	
小計	150,646	2,827	2,585	9,030	165,088	1,427	91,667

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
1,056	1,472,039	13,674	3,176	9,304	4,934	939	285	185	46	22	1,505,660	1,168,525

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	1,568	31	31	32	1,663	25	819
呼吸器	1,749	14	11	178	1,953	3	1417
消化器	8	2	1	0	12	0	
泌尿器	266	11	3	0	280	0	
乳腺	19	5	9	5	38	4	
甲状腺	36	2	2	3	44	2	
体腔液	19	1	3	0	24	0	
リンパ節	2	0	1	1	4	0	
口腔	2	0	0	0	3	0	
その他	5	1	1	0	7	0	
小計	3,674	69	63	220	4,027	35	2236

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
26	35,903	334	77	227	120	23	7	5	1	1	36,723	28501

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	200 数	医師	174 数	プログラム	73 数
技師参加者	756 数	技師	632 数	成績(平均)	92.8 %
合計	956 数	参加者	806 数		

精度管理に関する質問調査 総合計848施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	827	いいえ	17		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	824	いいえ	22		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	766	いいえ	74	「はい」ならば何%くらいですか	36.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	798	いいえ	38	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	54.2 % 4.6 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	826	いいえ	3	報告書の保管年数	53.5 年 65.8 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	838	いいえ	3		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	832	いいえ	8		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	838	いいえ	5		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	841	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	653	いいえ	185		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	388	いいえ	456	1日の最大検体数	70.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	579	いいえ	257		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	837	いいえ	7		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	832	いいえ	11		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	825	いいえ	10		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	789	いいえ	42		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	818	いいえ	20		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	738	いいえ	102	「いいえ」の場合何%	28.1 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	564	いいえ	275	「はい」の場合 一年何回	57.9 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	507	いいえ	302		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	259	いいえ	570		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	225	いいえ	503		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計121施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	120	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	116	いいえ	5		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	117	いいえ	4	「はい」ならば何%くらいですか	55.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	118	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	59.9 % 0.0 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	120	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	36.6 年 81.2 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	121	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	119	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	120	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	120	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	92	いいえ	28		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	38	いいえ	82	1日の最大検体数	65.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	71	いいえ	49		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	121	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	119	いいえ	1		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	113	いいえ	5		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	117	いいえ	1		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	115	いいえ	6		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	114	いいえ	6	「いいえ」の場合何%	76.5 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	93	いいえ	28	「はい」の場合 一年何回	69.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	86	いいえ	33		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	36	いいえ	82		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	27	いいえ	78		

精度管理に関する質問調査 一般病院 合計592施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	579	いいえ	9		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	577	いいえ	14		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	538	いいえ	48	「はい」ならば何%くらいですか	37.1 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	551	いいえ	31	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	58.8 % 5.2 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	573	いいえ	3	標本の保管年数 報告書の保管年数	30.7 年 73.4 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	582	いいえ	4		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	579	いいえ	8		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	584	いいえ	4		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	586	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	433	いいえ	151		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	233	いいえ	355	1日の最大検体数	63.4 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	393	いいえ	189		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	584	いいえ	4		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	580	いいえ	8		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	577	いいえ	5		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	538	いいえ	41		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	570	いいえ	13		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	516	いいえ	72	「いいえ」の場合何%	28.7 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	354	いいえ	230	「はい」の場合 一年何回	67.6 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	306	いいえ	250		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	161	いいえ	414		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	134	いいえ	363		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計3施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けするように努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	40.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	1	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	18.0 % 2.5 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	2	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	8.0 年 44.7 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	3	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	2	いいえ	1	1日の最大検体数	45.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	0		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	3	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けられていますか？	はい	3	いいえ	0	「いいえ」の場合何%	- %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」の場合 一年何回	13.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	2	いいえ	1		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	1	いいえ	2		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	0	いいえ	3		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計91施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	86	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	88	いいえ	3		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	80	いいえ	10	「はい」ならば何%くらいですか	9.4 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	88	いいえ	3	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	23.3 % 2.7 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	91	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	7.6 年 22.0 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	91	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	90	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	90	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	91	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	86	いいえ	3		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	82	いいえ	9	1日の最大検体数	83.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	76	いいえ	14		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	90	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	91	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	91	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	90	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	90	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	69	いいえ	20	「いいえ」の場合何%	25.3 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	80	いいえ	10	「はい」の場合 一年何回	17.4 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	80	いいえ	10		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	40	いいえ	51		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	42	いいえ	42		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計41施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	40	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	41	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	29	いいえ	12	「はい」ならば何%くらいですか	12.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	41	いいえ	0	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	43.3 % -
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	41	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	5.8 年 10.1 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	41	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	41	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	41	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	41	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	39	いいえ	2		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	33	いいえ	8	1日の最大検体数	92.7 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	36	いいえ	4		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	39	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	39	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	41	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	41	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	40	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	36	いいえ	4	「いいえ」の場合何%	12.5 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	34	いいえ	7	「はい」の場合 一年何回	23.9 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	33	いいえ	8		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	21	いいえ	20		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	22	いいえ	16		